

第4回 LCV「諏訪圏情報 BOX」

- **放送日** 令和8年7月21日(火) (再放送 7月28日(火))
- **テーマ** 「長野県 150 周年記念式典」について
- **出演者** 諏訪地域振興局 企画振興課

○ 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 今年は長野県にとって記念すべき年なんですよ。

(A) はい、明治9年8月21日に筑摩県と長野県の合併によって現在の長野県が誕生し、今年令和8年8月21日に150周年を迎えます。

(Q) この記念すべきタイミングにどのような展開があるのでしょうか？

(A) 長野県150周年事業のコンセプトを「自らを知り 互いを知り 高め合おう『私たちの長野県』」とし、県民一人ひとりが、150周年の歴史の中で築かれてきた価値や魅力を再発見し、一体感を持って共に長野県の未来を思い描き、新しい行動を起こす機会としていきます。そのためにさまざまな事業を展開していきます。

(Q) さまざまな事業とのことですが、具体的にどのような事業を実施しているのでしょうか？

(A) (例えば) 全77市町村・約200箇所のスポットを巡り、スタンプを集めて豪華賞品に応募できる「デジタルスタンプラリー」や、長野県の魅力や特徴を表現したオリジナルの俳句、短歌、キャッチコピーを募集する投稿キャンペーン「見つけて、詠んで、伝えよう『私たちの長野県』投稿キャンペーン」など、多くの事業を現在実施しております。

(Q) 明治9年8月21日に長野県が誕生したということですが、例えば、この記念日に何か計画されているのでしょうか？

(A) まさに150周年の節目となる8月21日は県民の皆さんと一緒に祝う「長野県150周年記念祭典」を開催します。

(Q) 「長野県 150 周年記念祭典」について詳しく教えてください

(A) 祭典のテーマは「つながる長野県」です。中信の松本市・音楽文化ホールをメイン会場に、南信の長野県伊那文化会館、北信のイオンモール須坂、東信の上田文化会館にサテライト会場を設けて開催します。

祭典の総合司会は、長野県“永久”観光大使の 峰 竜太さんをお願いし、松本市のメイン会場では「長野県ゆかりのオリンピック、パラリンピアンをゲストにお迎えしたトークショー」などを、3つのサテライト会場では伝統芸能やダンス、子どもたちの合唱など、会場ごと異なるプログラムを計画しています。

また、当日はメイン会場・サテライト会場の4会場を中継でつなぎ、祭典のフィナーレには、県歌「信濃の国」の大合唱をすべての会場で行います。

(Q) それぞれの会場を中継でつなぎ、フィナーレには信濃の国の大合唱。まさに「つながる長野県」ですね。ぜひ行ってみたいのですが、一般の方も参加できるのでしょうか？

(A) もちろんど参加いただけます。

現在、メイン・サテライトの各会場への参加申込を受け付けております。申込期間は7月27日（月曜日）まで、必要事項をおかきの上、ながの電子申請サービスからのオンライン申込、またはFAX、はがきでお申し込みください。

また、祭典フィナーレで行う「信濃の国」大合唱にオンラインで参加していただける団体・グループの方も募集しております。こちらも申込期間は7月27日（月曜日）まで、ながの電子申請サービスからお申込みください。

それぞれの詳細な申込方法につきましては、「長野県 150 周年記念祭典」で検索していただくか、県の公式ホームページからご確認ください。

その他にも県内 CATV 全 20 局と県公式 YouTube チャンネルでライブ配信とアーカイブ配信を予定しています。是非、ご覧ください。

(Q) ご興味のある方はぜひご参加いただきたいと思います。では、最後に一言お願いします。

(A) はい、記念祭典は、中信・南信・東信・北信の各地域で開催します。祭典当日は、広い長野県全体がつながり、また、150 年の過去から未来へのつながりが実感できるものにしたいと思っています。

皆さまのご参加をお待ちしております。

※本日の放送内容や事業の詳細は諏訪地域振興局のホームページからご覧いただけます。放送終了後、LCV エフエムホームページのお知らせ欄からアクセスが可能となりますので、ぜひご覧ください。